




私立大学図書館協会研修分科会 2010

目録そしてOCLCの役割

2010年12月17日
(株)紀伊國屋書店 新元公寛

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.



はじめに

今日は目録について皆さんと考えてみたいと思います。

目録とは何なのでしょう？特にインターネット時代における目録とはどうあるべきなのでしょう？

目録のための目録であってはなりません。
利用者の視点から考えて、便利な目録とは何なのでしょう？

Googleなどの検索エンジンと比べてはどうでしょうか？

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.



お話しする内容

- イントロダクション
- OCLCそしてWorldCatについて
- メタデータについて
- 参考レポート2例
- FRBRとRDAについて
- OCLCのウェブ戦略 (WorldCat LocalからWeb Scaleへ)
- おまけ (目録を補完するアプローチ2例)

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.




イントロダクション

カード目録を見たことがありますか？

目録規則について
AACR > AACR2
日本目録規則

MARCについて
LC-MARC > US-MARC > MARC21
JAPAN/MRAC

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.



OCLCとは


世界最大のライブラリーネットワーク、非営利団体
世界171ヶ国、72,000の図書館(大学、公共、研究機関)が参加

ミッション:
Connecting people to knowledge through library cooperation.
(図書館ネットワークによって人々を智に結びつける)

ビジョン:
The world's libraries. Connected. (世界中の図書館がつながる事)

方法:
共同目録作業とILLの推進

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.



OCLCとは(続き)

背景事情:
20世紀:単体での図書館では情報収集、保管に限界
⇒ 資料費の高騰、予算縮小に対応し切れない
21世紀:検索はネットで行うのが当たり前
⇒ 図書館の存在意義は？

OCLCの提唱:
情報資源の共有化 ⇒ 図書館費用の削減
コンピュータを積極的に利用した様々なサービス開発
⇒ 図書館の生産性をアップ

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC[®] The world's libraries. Connected.[™]

OCLCとは(続き)

資料の組織化から知識の組織化へ
文字情報、視聴覚情報のみならず、「知識」も組織化し蓄積

様々な書誌データベースを統合しつつ、書誌情報の共通プラットフォームを目指す
2006年7月 RLG Research Library Groupを統合

図書館使命である情報共有化、資源活用を目指す
- メタデータのクラウド化

紀伊國屋書店は1986年よりOCLCの日本国内代理店

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC[®] The world's libraries. Connected.[™]



©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC[®] The world's libraries. Connected.[™]

OCLCの歴史

- 1967年 オハイオ州立大学内に発足 (Ohio College Library Center)
- 1971年 オンライン・カタログサービス開始
- 1977年 オハイオ州外へのサービス提供を開始
- 1979年 ILLサービス開始
- 1981年 名称変更 (Online Computer Library Center, Incorporated.)
- 1986年 日本へサービス提供開始
- 1987年 CJKシステムのサービス開始
- 1991年 エンドユーザー向けレファレンスサービス:
FirstSearch提供開始
- 1997年 電子ジャーナルサービス:
EEO Electronic Collections Online提供開始

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC[®] The world's libraries. Connected.[™]

OCLCの歴史(続き)

- 2000年 CORC (Cooperative Online Resource Catalog)リリース
- 2002年 NetLibraryを一部門とする
共同レファレンスサービス QuestionPointリリース
- 2006年 RLGと統合、共同目録RLINをWorldCatに統合
- 2008年 OCLC Inc.に名称変更
- 2010年 NetLibraryをEBSCO Publishingに売却
FirstSearchの他のベンダー所有DBなどを売却

⇒ **本来のメタデータを中心としたサービスに特化することを宣言**

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC[®] The world's libraries. Connected.[™]


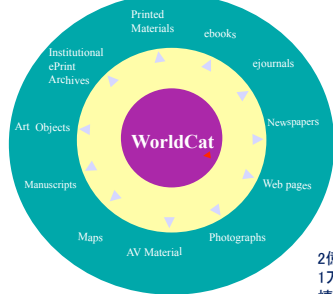



WorldCat[®] OCLC Online Union Catalog

世界最大の書誌データベース
 書誌レコード 約1億9,000万件
 所蔵レコード 約16億2,200万件 (2010年8月現在)
 書籍、逐次刊行物のほか、CD、ビデオ、インターネット情報
 資源なども含む様々な資料の書誌情報を収録

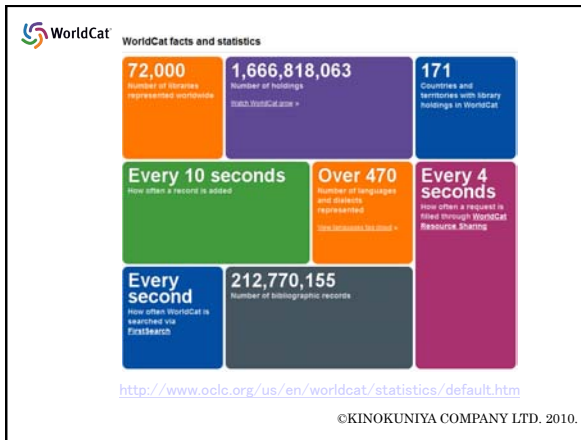
各国のMARCを取込 (世界32の国立図書館が参加)
 MARC21、NLM/MARC、UK/MARC、JAPAN/MARC
 (国立国会図書館) など

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

2億1,000万以上の書誌情報
 1万の図書館の16億の所蔵
 情報を網羅

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.



OCLCサービス #1
(Connexion - オンライン目録作成サービス)

WorldCatをオンラインで利用することにより、
図書館の目録作成業務を大幅に効率化
⇒ データヒット率:平均95%以上

ヒットしたらWorldCatの書誌レコードに図書館のローカルデータを付加 ⇒ 目録作成完了

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLCサービス #2
(WRS - ILL 図書館間相互貸借サービス)

ILLリクエストの作成・発信支援

WorldCatの約2億1,000万件の書誌レコードに対応する所蔵情報を確認し、OCLC ILL参加館(約8,000館)との資料相互貸借、複写支援サービス

オンライン上で参加館の貸出条件などの確認ができ、一度に複数の参加館に依頼を送信できるため、手間と時間を大幅に短縮

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLCサービス #3
(FirstSearch - レファレンスサービス)

エンドユーザーが特別なスキルなしに利用できることを目的に作られた情報検索サービス

約70のデータベースを収録

多くのデータベースがWorldCatとリンクし、該当資料の所蔵機関を知ることが可能

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

メタデータ、ダブリンコアについて

定義:(Structured) Data about Data

Dublin Core ダブリンコア
名前の由来は、OCLC主催で情報学やWeb技術の専門家によるメタデータに関する第1回会合が開かれたOCLC本部の所在地による

コアメタデータとしての位置づけ
Interoperability(メタデータ間の相互操作性)を指向したメタデータ

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

ダブリンコアの15の要素

- 1.Title(タイトル)、2.Creator(著者あるいは作者)
- 3.Subject(主題およびキーワード)、4.Description(内容記述)
- 5.Publisher(公開者、出版者)、6.Contributor(寄与者)
- 7.Date(日付)、8.Type(資源タイプ)、9.Format(形式)
- 10.Identifier(資源識別子)、11.Source(情報源、出处)
- 12.Language(言語)、13.Relation(関係)
- 14.Coverage(対象範囲)、15.Rights(権利管理)

日本語訳については下記を参照した
Dublin Core Metadata Element Setについて - 現在の状況と利用例
(杉本重雄、図書館情報大学)
<http://www.dlib.tokushima.ac.jp/DLibJournal/No.14/1/sugimoto1-sugimoto.html>

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

 OCLC® The world's libraries. Connected.™

OCLCレポート

Environmental Scan: Pattern Recognition 2003
<http://www.oclc.org/reports/escan/>

(議論の余地のない事実)
 オープンWeb上の情報やコンテンツは、物理的なもしくはバーチャルな図書館にある情報やコンテンツより、はるかに容易により便利に見つけたりアクセスしたりできるということである。情報消費者は、Googleのサーチボックスに検索用語を入力し、ボタンをクリックし、すぐに結果を眼にする。大部分で、情報消費者は満足している。(情報消費者の75%は、オープンWebが「必要な情報のほとんど」を供給してくれると回答した。)

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

 OCLC® The world's libraries. Connected.™

キャルホーンレポート

The Changing Nature of the Catalog and its Integration with Other Discovery Tools (2006)
<http://www.loc.gov/catdir/calhoun-report-final.pdf>

LCが目録の現状と今後について、当時コーネル大学図書館のKaren Calhoun(現OCLCメタデータ担当Vice President)に委託したレポート

LCSHの廃止を勧告し、議論を巻き起こす

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

 OCLC® The world's libraries. Connected.™

FRBRについて

FRBR, Functional Requirements for Bibliographic Records
 (書誌レコードの機能要件)

ひとつの著作に関連する一連の情報を網羅的に提供すべく利用者の観点から作成された概念、理念モデル
 (1998年、IFLAより刊行)

利用者側の視点から目録を見直すことに徹したことが最大の特色

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

 OCLC® The world's libraries. Connected.™

FRBRについて(続き)

FRBRの核心
 Work(著作)
 > Expression(表現形)
 > Manifestation(実現形)
 > Item(個々の資料)

FRBRの実装例(OCLC WorldCat.org)

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

 OCLC® The world's libraries. Connected.™

RDAについて

RDA, Resource Description and Access
 (資料の記述とアクセス)

AACR2の全面的な改訂版
 目録規則にFRBRモデルの基盤を取り入れる

目録の作成と利用に関して、大きな転換の可能性を与えるものと予想される

(参考)「日本目録規則」の改定に向けて
 日本図書館協会目録委員会(2010年9月17日)

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

 OCLC® The world's libraries. Connected.™

OCLCのウェブ戦略 WorldCat LocalからWeb Scaleへ

Open WorldCat
 主な検索エンジンにWorldCatの書誌情報を提供
 ⇒ 検索対象から図書館へのナビゲートを目指す

WorldCat.org:
 一般ユーザー向けの無料公開サービス
 図書館資料に導くOCLCの試み <http://www.worldcat.org/>

WorldCat Local
 WorldCat.org と個別図書館の図書館システムが連動したもの

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC® The world's libraries. Connected.™

OCLCのウェブ戦略(続き) WorldCat LocalからWeb Scaleへ

Web Scale
WorldCatを全面的に活用した図書館クラウドサービス

(参考)
OCLCメンバー評議会アジア地区会議東京大会
2010年9月 早稲田大学にて開催

会議映像および資料
<http://www.oclc.org/multimedia/2010/files/aprc/september2010/default.htm>

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC® The world's libraries. Connected.™

(おまけ) 目録を補完するアプローチ 1

Pathfinder(パスファインダー、道しるべ)
特定のトピックや主題に関する資料・情報を収集する際に、
図書館の提供できる関連資料集

愛知淑徳大学の例
http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/i/netresource_i/pf_i.html

千葉大学の例
<http://www.lib.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC® The world's libraries. Connected.™

(おまけ) 目録を補完するアプローチ 2

フォークソノミーとタクソノミー(統制語)の融合

新潟青陵大学リッテルナビゲータの例
<http://lib.n-seiryu.ac.jp/>

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.

OCLC® The world's libraries. Connected.™

21世紀の図書館の役割 ⇒ 情報のより効率的な共有

"The mission of librarians is to improve society through facilitating knowledge creation in their communities."

R. David Lankes, Syracuse University
- Keynote, 29th Annual Charleston Conference



The slide features a blue globe on the left and a world map on the right. The map is color-coded by continent and has a network of red dots and lines connecting various geographical locations, symbolizing global information sharing.

OCLC® The world's libraries. Connected.™

ご質問、お問い合わせは

 (株)紀伊國屋書店 OCLCセンター

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-10
Tel: 03-6910-0516
Fax: 03-6420-1356
Email: oclc@kinokuniya.co.jp

©KINOKUNIYA COMPANY LTD. 2010.